

現代のシャンソン

野 浪 嗣 生

2007年は2月にシャルル・アズナヴール、4月にジュリエット・グレコの来日公演があった。いずれもシャンソン界の押しも押されもせぬ大御所であり日本にしばしば来演している。9月には齢90を数えるアンリ・サルヴァドールの来日公演、さらにはエディット・ピアフの生涯を描いた映画の上映があり、主演女優の名演技もあってフランスではもちろん大ヒットしているが、昨今のフランス映画としては日本でもヒットした部類に入るであろう。等々、昔からのシャンソン・ファンにとっては久しぶりに渴きを癒された年であったと言えようか。

しかし、ピアフを除いて上記のような長年活躍している歌手たちはともかく、最近のフランスのシャンソン界での動向は日本でほとんど知らされていないのは残念なことである。そこで本稿では、日本ではほとんど知られていないが現在フランスで活躍中の歌手を取り上げて論じ、もって一石を投じたいと考えた次第である。とはいえ、例えばFNACのサイトの *chanson française* でのアルファベット順に並んだ歌手名を見るとおそらく500を優に上回る数があるので¹⁾、とてもその全貌を明らかにするというにはほど遠いことをまずお断りしておかねばならない。

さてそこで、あまりに恣意的なものになってしまっは意味がないのでどのようにするかであるが、幸いなことに *20 ans de TUBES*²⁾ という

1) ただし、この中には上記の歌手達やティノ・ロッシ、ジョゼフィーヌ・ベーカーといったいわば旧世代の歌手達も含まれている。

2) Alex P. King: *20 ans de TUBES HIT-PARADE* -Édition 2005-, Éditions Pascal, février

本を入手できた。アメリカではビルボード誌により Top 100として売り上げ枚数によって1955年からなされていたヒット・チャートは、フランスにおいてははずいぶん遅れ1984年11月から SNEP (Syndicat national de l'édition phonographique) と IFOP (Institut français d'opinion publique) により正式に統計が取られて Top50として公表されるようになった。この *20 ans de TUBES* はその1984年から2004年まで、正確には2005年1月までのチャートを始めとしてさまざまな記録やデータ、さらにはチャートに登場した主だった歌手達の簡単な紹介をも掲載している。著者はまた独特の、しかし納得できるやり方でポイント制を採用し、各曲のあるいは各歌手のポイントで順位をつけるということもしている³⁾。具体的に言えば各年度ごとの曲のランキング、1984年から2004年まで通算した歌手のあるいは曲名のランキング、80年代・90年代・2000年代の歌手のあるいは曲名のランキング、フランス語でのシャンソンのランキング、外国語でのランキング、各国ごとの歌手ランキングといったものである。

本稿では現代ということにこだわりたいので、こういったランキングの内、2000年代(2000年～2004年)の曲のランキングと歌手のランキング(各々50位まで表示)の両方に挙がってる歌手を取り上げる。すなわち Lorie, Alizée, Héléne Ségara, Garou, Johnny Hallyday, Marc Lavoine, Daniel Lévi, Chimène Badi, Axelle Red, Indochine, Florent Pagny である(順番は Top 50 artistes des Années 2000 の順位順)。さらに、プラスとしてどうしても欠かせないであろう歌手 Mylène Farmer を取り上げるつもりである。以下、歌手名のあとのかっこ内は本名である。

Lorie (Laure Pester)

曲のランキングに唯一人2曲挙がっている Lorie は1982年5月2日、Plessis-Bouchard (Val d'Oise) で生まれる。6歳からフィギュア・スケー

2005

3) *ibid.*, p.28

トを始め、11歳の頃にはアマチュアの大会でメダルをいくつか取っており、オリンピックを夢見るほどであったようだ。しかし2度にわたる半月板損傷手術のためスケートを断念、歌手・ダンサーを目指すことになる。15歳ですでに最初のシングルを録音するがしかしこれは残念ながら発売はされていない。2000年に彼女は曲名*Près de moi*を、当時はまだ稀であったインターネット上に公開したところ3ヶ月足らずでかなりのダウンロードがなされ、そのお陰でSONY-BGMと契約しアルバム*Près de moi*を翌年発売、現在までに90万枚以上売り上げている。その後も順調にヒット曲を出し、2003年には*Sur un air latino*でランキングのトップを獲得している。《son public est trop jeune pour être 〈panélisable〉⁴⁾》とあるように、彼女のコンサートのDVDを見ると客席に来ているのはミドル・ティーンから下の女の子がほとんどで、母親に付き添われて来ている子も目立つ。しかし彼女は2007年11月に通算5枚目の新しいCDアルバム *2 LOR EN MOI* を出したときに次のように述べている《J'ai commencé à chanter à 17 ans. Aujourd'hui, j'en ai 25. Avec ce disque, je voulais montrer que j'ai grandi. Je ne suis plus une jeune adolescente. Ce n'est pas facile, car l'image de la petite blondinette reste solidement inscrite dans les têtes!⁵⁾》彼女は大人の歌手へと変わりつつあるのだ。これからが彼女の正念場かもしれない。なお、日本では2002年にミネラル・ウォーター・エヴィアンのCMに登場しており、またアルバム「プレ・ドゥ・トワ～あなたのそばに」が同じく2002年にSonyより発売されていることを付け加えておきたい。

Alizée (Alizée Jacotey)

コルシカ島アジャクシオで1984年8月21日に生まれる。4歳からダンスを習い始めている。2000年に*Graine de star*というテレビ番組で歌を

4) <http://www.loriefanclub.com/officiel2LOR.html> の biographie

5) *Mon quotidien*, 28 NOV. 07

歌う。番組名からも分かるようにスター発掘番組といったところか。その結果かどうか幸運にも *Moi...Lolita* を歌える歌手を探していた Mylène Farmer (後述) と Laurent Boutonnat に認められ、*Graine de star* 出演から3ヶ月も立たない2000年7月4日にこの曲のシングルが発売される。その曲と彼女の年齢(16歳) および容姿があまりにも見事にマッチした為であろうかすぐにヒット曲となり、しかも爆発的なヒットとなる。その勢いはフランス国内だけに留まらずヨーロッパ全体にまで拡大した。フランスでは結局150万枚以上の売り上げとなった。日本にもこの曲を含むアルバム *Gourmandises* (邦題「わたしはロリータ」) のプロモートのために2003年5月に5日間訪れ、テレビやラジオに出演している。また日本の菓子会社のCMにも出演した。

彼女はその他 *L'Alizé*, *Parlez tout bas*, *Gourmandises*, *J'en ai marre*, *J'ai pas vingt ans* などをヒットさせているが、2004年にはすこしの休暇を求め、また結婚・出産のために活動を休止した。そして2007年12月に第3作目(ライブ・アルバムを除く)となるアルバム *Psychédélices* を出すが、その少し前から活動を再開している。アルバムの前2作が全て Mylène Farmer と Laurent Boutonnat の作品であったが、復帰作となるこのアルバムは完全にこの二人とは縁を切っており、果たしてその結果がどう出るのか興味あるところである。《A 15 ans, j'étais très naïve et je ne comprenais pas toujours ce que je chantais, même si je ne me suis jamais sentie comme une poupée manipulée. Mais, au bout de quatre ans, j'en ai eu assez que toutes les chansons soient fondées sur la sensualité et sur la sexualité. Je n'avais plus envie non plus de porter des robes Courrèges avec des bottes, et musicalement ce n'était plus ça, alors...⁶⁾》また、《Ils (=Mylène Farmer et Laurent Boutonnat) m'ont tout appris - notamment la rigueur, le perfectionnisme, la force de l'image - mais je devais prendre mon envol. De

6) *Psychédélice Alizée, l'après Mylène Farmer*, L'EXPRESSE.fr du 30/11/2007 <http://www.lexpress.fr/mag/arts/dossier/videochanson/dossier.asp?ida=462286 &xtor=RSS-96>

toute façon, ils savaient qu'ils ne pouvaient plus me tenir.⁷⁾》と述べていて、23歳で1児の母となったということで最早lolitaであり続けることはでき得ないし、自立しなければならない事を自覚しているのである。したがって彼女もLorieの場合と同じく、彼女にとってもこれからが正念場ということになるだろう。なお日本では先に挙げた*Gourmandises*の他にアルバム*Mes Courants Electriques* (邦題「夢見るアリゼ」) およびシングルCD 2, 3枚が発売されていたので、今回取り上げた歌手達の内では日本で一番知られた歌手といえるかも知れない。

Hélène Ségara

Six-Fours-les-Plages (Val) で1971年2月26日に生まれる。小さい頃から歌手になる夢を持っていたようだ (《(...) la belle Hélène (...) rêve de chanter depuis son enfance, dont elle garde des bibes de souvenirs: “Dès l'âge de trois ans, je grimpais sur les tables pour imiter “Clo Clo” et ses chorégraphies. (...)”⁸⁾》) 14歳からすでにコート・ダジュールのレストランやピアノ・バーで歌い始め、15歳ですでにあるシャンソン・コンクールで優勝している。1993年には最初のシングル*Loin*を出すも成功しなかった。1996年にパリに出てきてプロデューサーであるOrlandoと出会い(彼はDalidaの弟でもある)、そしてアルバム*Cœur de verre*を出し、その中の*Je vous aime adieu*が成功し1997年にSACEMからprix Rolf Marbotを受賞する。しかしなんとといっても彼女の名声を確かなものにしたのは1998年から上演されたミュージカル*Notre-Dame de Paris*でのエスメラルダ役を演じたことであろう。このミュージカルの大ヒットで彼女の他にもGarou (後述) やJulie Zenatti、Patrick Fiori、Bruno Pelletierといった歌手が注目されることとなった。しかし、このミュージカルで最初から

7) ibid.

8) Patrick Demar: *La chanson française en europe Des francophones à la french touch de A à Z*, DEMAR, 2002 p.209

彼女がエスメラルダ役を射止めていたわけではない。最初はイスラエルの歌手Noaがやる予定だったが（そのため公演前のスタジオ録音盤ではエスメラルダをNoaが歌っているものが発売された）急遽降板したので彼女にこの役が回ってきたのである。彼女はこのことについて《*Quand le destin frappe à la porte une seconde fois, il ne faut pas le laisser s'enfuir*⁹⁾》と言っている。

この後、声帯嚢胞で声が出なくなるという事態もあったが手術により無事回復し順調な活動を続けている。Révélation de l'année aux “NRJ Music Awards”、Artiste féminine de l'année aux “M6 Music Awards”、“La Victoire de la Musique” pour l'artiste féminine de l'annéeといったいくつかの賞も受賞している。アルバムはこれまでベスト盤、ライブ盤、スペイン語バージョンを含めて8枚、シングルは20数枚出している。最新の曲は*Father*（歌詞はフランス語）である。

Garou (Pierre Garand)

Sherbrooke (Québec, Canada)で1972年6月26日に生まれる。すなわちカナダ人である。3歳の時にギターをもらい、その後ピアノ、オルガン、トランペットまで習得する。1987年にはThe Windows & Doorsというバンドを組みビートルズの曲を演奏していた。その後1995年にはThe Untouchablesというバンドを組み地元のバーで演奏をしていたがけっこう人気があったようである。1997年、演奏中のGarouをみてLuc Plamondon（カナダの著名な作詞家、前述の*Notre-Dame de Paris*の作詞者でもある）に*Notre-Dame de Paris*のカジモド役としての素質を認められ1998年に出演、これによって彼の人気は一気に高まった。このミュージカルは大ヒットし、歌手はその時々で変わっているがヨーロッパのみならずアメリカや中国、韓国や台湾でまで上演されているが残念なことに日本では未上演のままである。それはともかく、このカジモド役での成功でGarou

9) http://fr.wikipedia.org/wiki/H%C3%A9l%C3%A8ne_S%C3%A9gura

はCéline Dionのマネージャーで現在は夫でもあるRené Angélilに認められてCéline Dionと同じスタッフで最初のアルバム*Seul*を2000年に録音・発売し、シングル・カットされた*Seul*はランキング1位を獲得。アルバム自体は2001年時点ですでに90万枚を優に超えた売り上げとなっている。2001年にはCéline Dionとのデュエット曲*Sous le Vent*が発売されて、この曲もランキング1位を獲得している。2003年にはアルバム*Reviens*を出し、2004年にはMichel Sardouとのデュエット曲*La rivière de notre enfance*が出てこれもランキング1位を記録している。コンサートも順調に行っており、そのコンサートを収録した*Garou Live à Bercy* (2002), *Garou [route]* (2004)の2枚のDVDが出ている。また、フランスでの「心のレストラン Les Restos du Cœur」の大きな部分を担うチャリティ・コンサート Les Enfoirésに2000年から毎年欠かさず参加していることも付け加えておきたい。

Johnny Hallyday (Jean-Philippe Semet)

Alex P. Kingが『On n'ose imaginer combien de N° 1 aurait amassé Johnny Hallyday si le Top50 avait existé dès le début des années 60. Sans doute plus d'une vingtaine.¹⁰⁾』と述べているように84年以降はN° 1ヒットがぐっと少なくなるが、しかしTop 50に入ったシングル数は64曲(2005年1月現在)あり、これは他の歌手の追隨を許さない。つまり彼は1960年のデビュー時から50年近くも一貫して高レベルな位置を維持し続けている希有な歌手なのである。

彼は1943年6月15日にパリに生まれている。生まれてしばらくすると両親が別れたため叔母Hélène Marsに引き取られた。彼女には二人の娘があり、この二人の娘がダンスを踊ってヨーロッパ中を周り生活の糧を得ていた。彼はこの旅行について回ったが、その間に叔母が彼にギターとダンスのレッスンを受けさせた。1953年、まだ10歳になる前に彼はコ

10) Alex P. King: op. cit., p.148

ペンハーゲンで初めて舞台に立って「デイビー・クロケットの歌」とブラッサンスの歌を歌う。1954年、彼は映画*Les diaboliques*（邦題「悪魔のような女」アンリ・ジョルジュ・クルーズー監督）にほんの少しではあるが出演している。

1957年彼らはパリに戻ってくる。この年彼はエルヴィス・プレスリーの映画*Loving you*（邦題「さまよう青春」）を見てショックを受ける。これが将来ロック歌手になろうと思うきっかけとなった。1959年にレコード会社*Vogues*と契約するが、この時叔母の娘のうちの一人の夫であるHallidayの名前を、綴り字を一文字変えて芸名とした。1960年のセカンド・シングル*Souvenirs souvenirs*がヒットし一躍その名前を知らしめる。《*Souvenirs, souvenirs... un jeune homme se fait remarquer en se roulant par terre sur scène : les ados du baby-boom tiennent leur première idole, notre Johnny national fait une entrée fracassante dans le show biz.*¹¹⁾》

先ほども述べたように、これ以降現在に至るまで常にトップクラスに位置しもはや国民的歌手と目されているほどのカリスマ性を持った歌手であるので、アルバムの数はベスト盤や再発売ものを含めれば恐らく50枚をかなり上回るのは確実であるし、シングルの数も膨大な数に上がるので例としても挙げないが、日本でもかつてビニール・レコードの時代に数枚のアルバムが発売されたことがある。また来日しテレビ出演したこともある。しかし残念ながらあまり話題にならなかったようだ。ともあれ彼に関して書き出せばかなりの字数を必要とするし、本稿の趣旨とも少しずれるのであまり深入りしないでおくが、《*L'égende vivante*¹²⁾》であることは強調しておきたい。

Marc Lavoine

パリ近郊のLongjumeauで1962年8月6日に生まれる。幼いときから

11) Daniel Lesueur: *Hit Parades 1950-1998*, Alternatives et Paralleles, 1999, p.39

12) *ibid.*, p.142

ジャズの好きな父親とジャック・デュトロンとローリング・ストーンズを聞いていた兄の影響を受ける。少年時代から彼は作詞をし始める。だが16歳頃に、自分の興味はむしろ演劇のほうだと考えてアマチュアの劇団に所属する。しかしオランピア劇場でアルバイトをしたために結局音楽の道に進むことになる（ただし役者の道も放擲したわけではなく映画にも現在までに20本ほど出演している。つまり彼は俳優であり歌手であるのである。こうした例は例えば先のJohnny Hallydayもそうであり、フランスでは珍しいというわけではない）。1983年の第一作目、第二作目のシングルはあまりヒットしなかったが、1985年にアルバム*Marc Lavoine*が発表され、その中からシングルカットされた*Elle a les yeux revolver*が4位にランキングされるヒットとなる。1986年にはやはり同じアルバムからシングルカットされた*Le Parking des Anges*、*Bascule avec Moi*がヒットし、以後順調に現在まで活躍が続いている。ちなみにN°1ヒットには女性歌手Cristina Maroccoとデュエットした*J'ai tout oublié*（2002年）がある。なお彼は、2002年に自閉症の子供達のための組織Le Papotinを作っているし、またLes Enfoirésの常連でもあることを付け加えておきたい。

Daniel Lévi

Constantine (Algérie)で1961年8月26日に生まれる。彼が生まれるとすぐに一家はフランス・リオンに移り住む。7人兄弟の末っ子である彼に音楽の勉強を続けさせるために両親は犠牲的努力を払った。一通り音楽の基礎をやった彼はリオンのコンセルバトワールに入り10年間ピアノを学ぶ。しかし彼はクラシックよりもジャズ、ソウル、リズム・アンド・ブルースの方に惹かれていき、結局クラシックを捨て、パリに出て最初のアルバム*Cocktail*（1983）を出す。これはまあまあの成功（un succès modeste¹³⁾）をおさめたようだがしかし商業的には失敗であった。1991年、

13) <http://www.daniellevi.org/v2/index.php?rub=bio>

彼はCatherine Lalaのミュージカル*Sand et les romantiques*に出演し、ミュッセとショパンの二役を演じる。1993年にはディズニーのアニメ作品「アラジン」の挿入曲*Ce rêve bleu*を女性歌手Karine Costaと吹き込み、これがランキング3位まで上昇する。1996年には全曲自ら作詞・作曲したアルバム*Entre parenthèses*を出している。

しかし彼の場合もやはり特筆すべきはミュージカル「十戒」*Les Dix Commandements*への出演であろう。彼はこの作品の中でモーゼ役を演ずるが、この作品自体が大ヒットした。公演は3年続き、パリ、次いでフランス中を公演し、公演回数は300回以上にのぼる。2001年にはこの作品の挿入歌*L'envie d'aimer*が、ランキングとしては惜しくも1位になれず2位に留まったが*Victoire de la musique*で*Chanson de l'année*に選ばれて賞を受け、売り上げは150万枚にも上った¹⁴⁾。歌っているのはもちろんDaniel Léviで、これによって彼の歌手としての地位が確立されたと言ってよい。なおこのミュージカル「十戒」は2005年2月と3月、大阪と東京で引越し公演がなされたのはまだ記憶に新しいが、この時のモーゼ役は残念ながらDaniel LéviではなくSergio Moschettoであった。

彼はその後*Ici et maintenant* (2002)、*Le cœur ouvert* (2005)の2枚のアルバムを出し、また*Mon frère, Ici et maintenant*の2曲のシングルヒットを出しているが、まだ「十戒」の呪縛から抜け出せていないようだ。なお、*L'envie d'aimer*はコンピレーションの中の1曲として日本でもCDが出ている。

Chimène Badi

1982年10月30日Melun (Seine-et-Marne)に生まれる。彼女は小さい頃から歌手になりたいという夢をずっと抱き続けていたようだ。2002年、彼女はテレビのPopstarsというスター発掘番組に出場する。その時は4人グループのメンバーのオーディションだったが、ア・カペラで彼女の声

14) *ibid.*

を聞いた審査員の Valéry Zeitoun (レコード会社AZのディレクター) の言葉を、彼女自身がこう語っている《En fait, Valéry était à la table du jury et il m'a dit en me regardant: "Vous allez passer par plusieurs sentiments et je vais devoir vous faire de la peine. Nous ne vous imaginons pas dans un groupe mais plutôt dans une carrière solo. Donc, si vous avez envie de travailler, je me propose de vous aider."¹⁵⁾》

かくして彼女はシングル *Entre nous* を2003年の始めに出し、いきなりチャートの4位にランク・インする。そしてほどなくして堂々のトップに立つ。しばらくの後シングルと同名のアルバムが出され、この中からシングルカットされた *Je vais te chercher, Si j'avais su t'aimer* がヒットする。彼女がすばらしい歌手であることは、例えば Johnny Hallyday が彼のコンサートのゲストの一人として一緒に歌ったり、あるいは彼女のコンサートに Michel Sardou がゲストとして出演し共に歌ったりしていることでも分かることなのである。

その後彼女は2004年末にアルバム *Dis-moi que tu m'aimes* を出し (これはロングセラーとなっている)、このアルバムの中から *Le jour d'après* と *Je ne sais pas son nom* がヒットしている。また2007年初めに三作目にあたるアルバム *Le Miroir* を出し *Tellement beau* のヒットを放っている。

Axelle Red (Fabienne Demal)

Hasselt (Belgique) で1968年2月15日生まれ。フラマン語圏であるにもかかわらずフランス語で歌う。ベルギー国籍である。彼女自身がこう語っている《Belge néerlandophone, ma première langue était le flamand. Mais j'aimais le français, sauf quand mes parents (aujourd'hui divorcés) l'employaient: il était uniquement réservé à leurs disputes! C'est en regardant

15) Cité par Marianne Behar in *Chimène Badi sur la belle voie*, Humanité, Article paru le 8 avril 2005

http://www.humanite.fr/2005-04-08_Medias_-Chimene-Badi-sur-la-belle-voie

la série “Angérique” avec ma sœur, Nadia, que j’ai commencé à apprendre votre langue.¹⁶⁾》

彼女は6歳頃から歌手になることしか考えていなかったようである。1983年、彼女が15歳のとき*Little Girls*というシングル・レコードを出している。その後彼女は法律を学ぶ傍ら1988年にレコード会社と契約し、*Kennedy Boulevard*を出してベルギーでディスク・ドールを取る。1992年、最初のアルバム*Sans plus attendre*を出し、この中からシングルカットされた*Sensualité*が2位にランクされるヒットとなり、次いで*Je t’attends*、*Le monde tourne mal*がヒットする。こうして彼女はもはやベルギーのみならず、フランス、スイス、カナダへとツアーを行うことになる。

1996年彼女は2枚目のアルバム*À tâtons*を発表する。このアルバムからは*A quoi ça sert*、*Rester femme*がヒットしている。このアルバムは世界で100万枚を超える売り上げを見せた。

1998年はフランスでサッカーの世界・カップが開催され、フランスが優勝したのは周知のことであるが、Axelle RedはYoussou N’Dourとデュエットでこの大会の公式曲*La cour des grands*を歌い、これもまたヒットした。またこの年、彼女はベルギーのUNICEFの親善大使となっていることも付け加えておきたい。恐らくこの親善大使での活動が、例えば*Pas maintenant* (2003)やRenaudとのデュエット曲*Manhattan-Kaboul* (2003)を彼女に歌わせたものと思えるからだ(前者は彼女自身の作詞)。

彼女はこの他に3枚のアルバムを今日までに発表しており(ベスト盤、ライブ盤を除く)、いずれもそれなりの売れ行きをしており、またヒット曲もコンスタントに出している。

Florent Pagny

《Régulièrement présent dans les classements français, Florent Pagny est le seul artiste à avoir été N° 1 à chaque décennie depuis que le Top50 existe.

16) cité par Patrick Demar, op.cit., p.188

«N'importe quoi» (N° 1 en 1988) pour les années 80, «Savoir aimer» (composé par Lionel Florence et Pascal Obispo, N° 1 en 1997) pour les années 90 et «Ma liberté de penser» (N° 1 en 2003) pour les années 2000.¹⁷⁾ という Florent Pagny は Top50 に入った曲数は男性歌手では Johnny Hallyday に次いで 2 番目に多い。彼は Chalon-sur-Saône で 1961 年 11 月 6 日生まれ。あるサイトによれば¹⁸⁾ 彼の母と父方の祖父がすばらしい声を持っていたとのことである。また母方の祖母はちょっとしたミュージカルを書き、それを村人達に演じさせていたという。これが事実だとすれば Florent Pagny の行く末を暗示しているのかも知れない。彼は 15 歳の時にパリに上京し、演劇のコースに登録したがあまり長続きしなかったようである。彼はまた le Conservatoire de Levallois で声楽を学ぶ。生活費を稼ぐため彼はバーのバーテンダーをしていたが、その時に有名な映画界のマネージャーと出会い、映画に出るように誘われて *Inspecteur la Bavure*, *L'As des as* (邦題「エースの中のエース」)、*L'Honneur d'un capitaine* (邦題「戦争と名誉」－未公開、ビデオのみ)、*Fort Saganne* (邦題「フォート・サガン」) など出演する。この映画出演がきっかけで自ら作詞・作曲した曲 *N'importe quoi* を 1988 年に出し、これがいきなり N° 1 ヒットとなる。この曲は 10 週間 N° 1 の座に居座り、晴れて彼は人気歌手の仲間入りを果たすのである。ちなみにこの曲は筆者が所有する 1989 年に発売された「リアル・タイム・フランス」という日本版 CD のコンピレーション・アルバムの中に収録されている。

1990 年には最初アルバム *Merci* を出し、このアルバムの内 4 曲をヒットさせている。これ以後アルバムはベスト盤を除いて 13 枚のアルバムを出しているが、その内 *Baryton* (2004) は「君のために歌おう」という邦題がついて日本でも発売されている (2005 年)。アルバムのタイトルで分かるように彼の声はバリトンで、しかも本格的にコンセルバトワ

17) Alex. P. King: op. cit., p.241

18) <http://www.florentpagny.org/v2/main.html>

ールで学んでいるのでその声質はすばらしく、このアルバムではオペラのアリアなども歌っており、パリでの公演のDVDを見ると（バックはパリ交響楽団）ちょっとしたセミ・クラシック・コンサートのような雰囲気醸し出している。まさしく《*chanteur à voix*¹⁹⁾》なのである。なお最新のアルバムは2007年11月に発売された *Pagny chante Brel* で、なんと彼はかの Jacques Brel の曲を歌っている。

Indochine

今回取り上げたもので唯一グループであるが、Alex P. King に《*Étonnant come-back que celui réalisé par Indochine en 2002. Après plus de dix ans d'absence du Hit-parade français (et pourtant le groupe existait toujours!), le groupe français va se classer N° 1 pendant l'été 2002, avec « J'ai demandé à la lune » (composé par Mickaël Furnon, membre du groupe Michéy 3D).*²⁰⁾》と書かれている Indochine の成り立ちは1981年にさかのぼる。Nicola Sirkis と Dominique Nicolas の二人は、Dimitri Bodianski (サキソフォンとシンセサイザー奏者) と Sirkis の双子の兄弟 Stéphane Sirkis に加わってもらいグループを設立する。早くもこの年に2枚のシングルを出している。1982年にデバッシュ・モード (イギリスのロック・バンド)、次いでタクシー・ガール (フランスのテクノ・ポップ・グループ) の前座を務めるが、しだいに人気が高まって、不安に感じたタクシー・ガールのマネージャーが前座を降りるよう求めたという逸話がある。この年にアルバム *L'aventurier* を出し、1983年には同名のシングルが70万枚、アルバムが25万枚売れてこの年の *Bus d'Acier (Grand Prix du rock français)* を受賞している。この後3、*7000 danses* 等のアルバムを出すのが、Sirkis 兄弟を残してふたりが脱退したり Stéphane が亡くなったりしてメンバー

19) Bernard Bonniex, Pascal cordereix, Élisabeth Giuliani: *Souvenir, souvenir... Cent ans de chanson française*, Gallimard / Bibliothèque national de France, 2004, p.117

20) Alex. P. King: op. cit., p.149

は再々入れ替わり、また彼らの演奏する音楽も変貌したためファンやメディアから見捨てられたような状態に陥り、1990年の *Le baiser* (23位) 以降しばらくチャートから姿を消してしまう。しかしライブ活動はよくしていたようで、この間にも3枚のライブ・アルバムを出している（スタジオ録音は4枚）。

2002年にアルバム *Paradize* が出され、シングル・カットされた上記の *J'ai demandé à la lune* が150万枚、アルバムは120万枚売れるという大ヒットとなり、この年のMTV Europe Music Awardsで *Meilleur artiste français* を、2003年にはNRJ Music Awardsで *Meilleur album francophone*、*Victoires de la musique* で *Meilleur album pop/rock* という賞を獲得している。この後は再び順調に活動が続け、最新のアルバムは2007年12月に出た *Alice & June Tour* というライブ・アルバムである。なお彼らの第3作3は日本では「ジュピターの帰還」という邦題で発売された唯一のCDがある(1985年)。筆者の所有するライブのDVD *Paradize Show* (2003) を見るといわゆるノリの良いロックで、ベルシーの大きな会場を一杯に埋め尽くした観客が身体全体で彼らの音楽に乗っている様子が見て取れる。

Mylène Farmer (Marie-Hélène Gauthier)

《Star incontestée de la chanson française, Mylène Farmer a, au total, inscrit vingt-cinq titres dans le Top 10 du Hit-parade depuis 1986 (record en France) dont trois à la première place: «Pourvu qu'elles soient douces» (1988), «Désenchantée» (1991) et «XXL» (1995)²¹⁾》この後2006年にはMobyという英国の歌手とのデュエット曲で *Slipping Away (Crier La Vie)* がN°1ヒットを記録し、またN°1には届かなかったが上位にランクされた曲は何曲もあるので現在ではこの数字は訂正されなければならない

21) *ibid.*, p.131

が、ともあれ彼女はカリスマ的人気を誇り、《un mythe vivant²²⁾》と称される歌手なのである。

彼女はPierrefonds (Canada)で1961年9月12日に生まれる。しかしこのカナダ時代のことは本人があまり語りたがらないとのことである。あまり楽しい幼少時代を送ったわけではなさそうだ。1970年に一家はパリ近郊のVille d'Avrayに引っ越すが、ここでもまた馴染めず、いわば引き籠もりのような状態になったようである。1979年、リセの最終学年を二日でやめて独立しいろいろな職に就く。彼女はまた演劇のコースに登録している。1983年に彼女の重要なパートナーとなるLaurent Boutonnat (映画作家、作曲家)と知り合い、最初のシングル*Maman a tort*を1984年に出す。この時に、凄まじい生涯を送ったアメリカの映画女優Frances Farmerの名前の姓の方を芸名として用いるようになる。そしてこの曲はその夏にそれなりのヒットとなる。1986年に最初のアルバム*Cendres de Lune*を出して、このアルバムは100万枚の売り上げを記録し、シングルカットされた*Libertine*は10位にランクされるヒットとなった。これ以後のヒット曲は上記のようにたくさんあるのでいちいち紹介しないが、アルバムとしてはベスト盤、ライブ盤を除いて今までに6枚出している(全て含めれば13枚)。最新のアルバムは2006年12月に出たライブ盤*Avant que l'ombre... à Bercy*である。

彼女の場合、Laurent Boutonnatがパートナーということでビデオ・クリップも彼が制作しているが、そのクリップはかなり凝った作りになっており、エロチズムとデカダン、耽美的で退廃的な雰囲気と共に、特に初期には彼女のロリータ性すらも窺えるある意味問題作なのである(クリップだけを集めたDVDが今までに4枚出ている)。

また先に述べたように彼女はAlizéeを見出し、一躍スターに育て上げたことも忘れてはならないことである。

なお、日本では「ミレーヌ・ファルメール」(*Ainsi soit je...*)、「二重

22) <http://www.tv5.org/TV5Site/musique/artiste-99-farmer.htm>

人格」(*L'autre...*)、「アナモルフォーゼ」(*Anamorphosée*)、「イナモラメント」(*Innamoramento*)、「影が迫り来る前に」(*Avant que l'ombre...*)が発売されており(ベスト盤、シングル盤は除く。また最後のアルバムを除いて全て廃盤)、こうしてみると、Alizéeの育ての親ということもあり、日本での知名度となるとどちらが優位なのか俄には判定し難いが、やはり活動期間の長さからもMylène Farmerのほうがより知られていると見るのが妥当であろうか。

例えばJean-Jacques Goldman, Yannick Noah, Patrick Bruelなどまだまだ多くのスター達がいるし、また今回取り扱った期間以降にもRaphaël, Calogero, Jenifer等々の新しきスター達が登場してきている。最初に述べたように、本稿で取り扱ったのはほんの一握りの(しかしトップクラスにいる)歌手達に過ぎないことを改めてご了解いただきたい。そしてこうした新しい歌手達についてはまた稿を改めて論じてみたいと思っている。

最後に、本稿の性質上インターネットを利用することは避けられず、上に引用したもの以外にも大いに恩恵に浴していることを付言しておくが諒とされたい。

(本学教授)